

神戸学生青年センター〈現代キリスト教セミナー〉

「オリンピックとカジノ/万博は現代のバベルの塔か？ —科学技術とプロテスタンティズムの倫理—」

講師：神戸大学教授 塚原東吾さん

日時：2019年11月14日(木)午後6時30分

塚原東吾さんは、『福音と世界』2019年8月号に、同名の論文を書かれています。その最後の部分に次のように書かれています。

「筆者は神学には門外漢だが、カール・バルトにはリスペクトを惜しまない読者の一人として、いまバルト読みの方々に問いたいのはこういうことである。たとえばバルトの神義論は、さまざまな論者によって実に詳細に論じられているが、現実の問題にどのように答えるのかがどうもよく分からない。火急の問題としては、バルトなら、ギャンブルを「悪」と考えていただろうか？ カジノ万博やオリンピックのメダル獲得競争は「(神の)愉快」なるゲームとしてたのしまれるべきなのだろうか、それともそれは「悪」なのだろうか？ これらのメガイベントは、ノアの洪水に対してきわめて脆弱な場に建てられるバベルの塔(なう)ではなかろうか。だとしたら、これもバルト的な「危機」ととらえられていいのではなかろうか。」

〈塚原東吾さんプロフィール〉

1961年東京生まれ。神戸大学教授。専門は科学史・科学哲学。STS(科学技術社会論)。共著書に『科学技術をめぐる抗争』(岩波書店)、『帝国日本の科学思想』(青土社)、訳書の『オランダ科学史』(朝倉書店)、『医師の社会史』(法政大学出版局)など。

会場 神戸学生青年センター

TEL 078-851-2760

参加費 600円(当日会場でお支払いください)

主催 公益財団法人 神戸学生青年センター

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

ホームページ <http://Ksync.jp/> e-mail info@Ksync.jp

